

会派代表質問
「会派名」 憲政会
「氏名」 松本久次

問 ー 仮称 ー 岩国基地関連特別交付金の概要
に つ い て

当 交 付 金 に 関 し て は 、 既 に 聞 い て い る 部 分 も
あ る が 、 こ の 交 付 金 の 概 要 に つ い て 、 交 付 の
対 象 と な る 事 業 や 、 こ れ ま で の 再 編 交 付 金 と
の 違 い な ど 、 分 か っ て い る も の が あ る の か 伺
う 。

答 ー 従 来 と 同 様 に 、 施 設 整 備 等 に 活 用 す る

こ の 交 付 金 は 、 国 の 交 付 要 綱 に 基 づ い て 予 算
措 置 さ れ る も の で 、 交 付 対 象 事 業 な ど 、 具 体
的 な 制 度 設 計 に つ い て は 申 し 上 げ ら れ な い が 、
ハ ー ド 事 業 だ け で な く 、 様 々 な 事 業 に 活 用 で
き る 。
ま た 、 新 た な 負 担 の 前 提 に つ い て は 、 負 担 と
の 引 き 換 え で は な い と 考 え る 。

会派代表質問
 〔会派名〕 公明党議員団
 〔氏名〕 桑田勝弘

問 システムの標準化に市長のリーダーシップを強く要望する

D X を推進するため既に推進会議を昨年
 て取り組むと明示C O を中心に全庁的に
 らが様々な変革に強い取り組みは、首長自
 答 『自治体DX全体手順書』には、
 強い人的配置、将来的な展望が重要である。市長の
 上で時間的制約のある重大改革であり、予算
 ル化の目的は、行政の効率化や住民福祉の向
 限は令和7年度より前である。行政のシタ
 自己所有の電算室を有し、その保守契約の期
 欠。そのための改革の仕様を標準化する準備が不可
 そ。20 〔ク〕は独自の仕様を標準化する目標な
 各自治体は独自のシステムを運用しているが
 D X の推進には市長のコミットメントが重要
 プを強く要望する

の し 11
推 っ 月
進 か に
に り 設
取 と 置
り し 。
組 た 市
む り 長
。 ー と
ダ し
ー て、
シ、
ッ そ
プ の
を 責
取 任
り を
、 持
D ち
X、

(1) 子 ・
国 ど そ
の も の
対 の 他
策 貧 の
と 困 質
の 対 問
整 策 項
合 に 目
性 つ
に い
つ て
い
て

一般質問
 二葉会
 植野正則

問 内 玖珂地域自治会連合会は総合センターの
 管 理 を 業 務 委 託 契 約 に よ り 受 託 し て い る が、
 責 任 が 伴 う 施 設 管 理 に 心 ざ わ し い 委 託 料 単 価
 と 時 間 外 の 割 増 単 価 に つ い て 委 託 料 単 価
 答 業 務 委 託 契 約 の 人 件 費 単 価 に つ い て は、
 山 口 県 の 最 低 賃 金 を ベ ー ス に 算 定 し て お り、
 時 間 外 勤 務 の 割 増 単 価 の 適 用 は 算 定 し て お り、
 協 議 は 行 う。 割 増 単 価 の 適 用 は 算 定 し て お り、
 今 後、

問 本 市 の 農 業 振 興 地 域 農 用 地 に つ い て 直
 し 作 業 が 進 め ら れ て い る が 進 捗 状 況 を 伺 う。
 答 現 時 点 で の 進 捗 率 は 80% か ら 85% だ り、
 今 後 3 月 に 県 と の 事 前 調 整、 農 業 者 の 方 々
 体 と の 検 討 会 を 行 い、 そ の 後、 農 業 者 の 方 々
 の 意 見 や 要 望 を 伺 う。 パ ブ リ ッ ク コ メ ン ト を 行
 う。

一般質問
「会派名」
「公明党議員団」
中村 豊

問 中核機関設置後の体制整備は重要となつてくる。相談窓口の充実、人材の確保、情報
の共有などの強化が考えられる。体制整備に
おける取組、考えを問う。有する職員を相
答 成年後見制度等の知識を有する職員を相
談員として配置する。この中で、相談に
応じていく。また、支援に關わる全
關係者がそれぞれ。また、支援に關
に連携及び情報共有を図りながら、お互い
に連携及び情報共有を図りながら、お互い
ットワークを構築する。第一歩として、中核
機関の設置により、成年度の適切な利
用に向けて利用者を支援する地域連
用機の体制づくりなど、段階的に機
能を高めたい。

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 憲 政 会 員 名 〕
 田 村 博 美

問 地 域 本 市 の 地 域 ブ ラ ン ド を 推 進 す る に 当 た り 、
 が 本 市 に お け る 状 況 に 対 し て 制 度 が あ る か
 登 録 は な い が 、 出 願 に か か る 費 用 に つ い て の
 補 助 制 度 も あ り 、 願 望 に か か る 費 用 に つ い て の
 署 含 め 、 庁 内 で 連 携 し て 取 り 組 む 以 外 の 部

問 鳥 獣 被 害 対 策 (ク マ ッ) に つ い て 。
 知 事 と 携 手 し て も 身 事 故 が 起 き な い よ う 関 係 機 関
 と 携 手 し て 人 身 事 故 が 起 き な い よ う 関 係 機 関
 安 心 安 全 の 確 保 に 努 め る こと を 今 後 は 、
 県 が 任 命 する 防 止 策 の 実 施 と 連 携 し 命
 す る 鳥 獣 被 害 の 防 止 策 の 実 施 と 連 携 し 命
 ク マ の 対 策 が でき る よ う 調 整 を 図 っ て い く こと

額 討 答 の で 年 上 (問
軽 中 よ は 11 水 1
減 ° 上 う 合 月 道) 玖
を 公 水 に 併 に の 上 西
早 共 道 な 浄 は 要 備 下 地
急 下 財 の 槽 望 に つ の 区
対 と 源 か ° 区 が 出 て 住 民 意 識 も 変 わ り 、
応 合 確 保 、 大 に な っ て い る ° 排 水 計 画 昨
す 浄 整 備 手 法 を 研 究 、 検
る よ 化 槽 の 初 期 投 資 の 差 検
う 検 討 °

業 答 て ザ 後 本 て (い 問
と プ は の の 年 2 て
積 プ い 改 プ 4) 今
極 ラ か 修 ラ 月 1 後
的 ス が や ご み の か ら の プ
に チ か 地 元 企 業 と の つ い 新 法 施 行 に 伴 い 、
見 ク ° 業 と の 連 携 も 含 め て 検 討 し
交 ご み の 処 理 に つ い て 地 元 企
換 し 、 検 討 し た い °
し の 処 理 に つ い て 地 元 企
、 検 討 し た い °

〔 氏 名 〕	〔 会 派 名 〕	一 般 質 問
藤 本 泰 也	創 志 会	

問 錦見、西岩国地区のまちづくり整備計画について
 問 錦見、西岩国地区のまちづくり整備計画について
 答 錦見地区の整備は、住民による計画を基
 に市が検討する新たな整備事業を廃止し、計画的
 駅前地区土地地区画整理事業を廃止し、計画的
 に整備を進めていく。現在進行中の公共下水道
 岩国地区の整備は、現在進行中の公共下水道
 の整備工程と調整をしながら、防火対策のない
 よう整備を行う。消火栓等、防火対策・防火
 設備を検討する。排水路の調査・検討によ
 り最も適した場所、新たなポンプ場の整備
 を行うことにより、内水被害対策を行う。整
 地区住民の安心・安全、暮らしやすいまちづ
 くのため、本市の寄り添った施策を要望。

一般質問
 会派名
 憲政会
 中村雅一

問 予 定 令 和 5 年 度 中 学 校 の 部 活 動 は 改 革 が
 催 と な り 大 会 に つ な が る 選 手 権 大 会 の 廃 止 さ
 活 動 と な り 3 年 生 は 6 月 の 選 手 権 予 選 ま で の
 わ る 。 今 後 は 段 階 的 に 地 域 移 行 し 、 ス ポ ー ツ の
 ス ポ ー ツ チ ャ ム や 希 望 す る 中 学 生 は 約 2 万 5 千 名 の
 な る が 、 事 故 や け が の 中 学 生 入 学 約 2 万 名 の
 問 題 、 現 在 市 内 の 中 学 生 入 学 約 2 万 名 の
 以 上 の 部 活 徒 子 加 入 制 度 指 導
 者 の 確 保 は な さ れ て い る か
 答 部 活 改 革 検 討 委 員 会 市 民 団 体 と 連 携 し て 準
 備 対 応 し て い く 。 協 会 等 市 民 団 体 と 連 携 し て 準
 が 対 応 し て い く 。

一 般 質 問
 〔 会 派 名 名 〕
 〔 松 川 卓 司 〕
 〔 憲 政 会 〕

が 追 加 接 種 を 呼 び か け る 。 人 権 に 配 慮 し な
 い 。 重 なる 可 能 な 限 り 速 や か に 団 接 種 は 設 け て い
 キ ッ ト も 活 用 。 3 月 は 卒 業 や 各 種 学 校 行 事 が
 見 ら れ る と き は 、 感 染 の 早 期 発 見 に 抗 原 簡 易
 程 度 実 施 。 職 員 の 希 望 者 を 対 象 に 1 週 間 に 1 回
 小 学 校 教 職 員 の 集 団 感 染 の 未 然 防 止 の た め に
 C R 検 査 実 施 も 希 望 者 対 象 に 1 週 間 に 1 回
 級 閉 鎖 や 学 年 閉 鎖 等 の 措 置 を 取 っ て い る 。 P
 と し て 文 部 科 学 省 の ガ イ ド ラ イ ン を 参 考 に 学
 ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 感 染 が 確 認 さ れ た 。 対 策
 多 く の 学 校 で 児 童 ・ 生 徒 、 学 期 が 始 ま っ て か
 や や 高 く な っ て お り 、 3 学 期 が 始 ま っ て か
 答 がい が 現 状 認 識 と 対 策 は 。 コ ロ ナ の 陽 性 者 が 多
 問 10 歳 未 満 と 10 歳 代 の コ ロ ナ の 陽 性 者 が 多

一 般 質 問
 氏 名
 姫 野 敦 子
 リ ベ ラ ル 岩 国

業 問
 の 傘 社 美
 の 傘 下 と 和
 こ れ ま で も 町
 懸 念 さ れ る と 土 崩 事 業 の S o l a r 13 が 上 海 電 力 事
 て い た が 、 も し や 地 元 か ら 反 対 の 声 が 上 が っ
 の 問 題 へ 発 展 し た 感 と あ り 、 国 が 取 り 組 ま な
 け れ ば な ら ない 問 題 と 認 識 し て い る 。 市 の 考
 え を 問 う 。 不 利 益 が 生 じ ない よう な 環 境
 答 ま す は 、 事 業 者 や 市 が 主 体 的 に 関 与 し な
 が ら 市 民 や 市 規 制 条 例 な ど の 調 査 ・ 研 究 を し
 整 備 が 必 要 。 国 の 取 組 に 対 し
 て い き た い 問 題 に つ い て は 、 国 会 で こ
 の よう な 問 題 に つ い て は 、 自 民 党
 の 早 苗 政 調 会 長 へ 、 質 問 を 行 っ た 日 程 を 調 整
 し た い と 考 え て い る 。

一 般 質 問
 〔 会 派 名 名 〕
 〔 石 本 會 會 〕
 崇

一般質問
 公明党議員団
 越澤二代

問 ちやんを授かるものこの流産や死産を繰り返す赤
 と診断され、全国では30万5000人の患者が
 いると推計され、以上の方が不妊症、治療
 療に80%以上の方が検査を受け、こ
 不育症を知り、適正な検査や治療を受け、こ
 とで多くの命を守ることができ、経済的支援
 治療に多くの費用がかかる、経済的支援
 が必要。不妊症検査治療費助成事業についで
 問 岩市では本年4月より、国の補助
 事業以外検査・治療にかかると診断された方が受
 医療機関においであれば、保険適用の有無を
 ける検査・治療であれば、保険適用の有無を
 問 わず、年間20万円を上限とし、助成を経
 済的な理由から検査や治療を断念し、出産を経
 済的にならば、検査や治療を断念し、出産を経
 諦めること、子の不育、極度の生活支援に活用し、産
 た、少子化対策と子育て支援に活用し、産
 だめ、少子化対策と子育て支援に活用し、産

一 般 質 問
 〔 会 派 名 〕
 〔 市 民 ク ラ ブ ・ 草 の 根 〕
 〔 氏 名 〕
 広 中 英 明

問 へ 都 市 部 から 田 舎 暮 ら し が し た い と い う 考 え で 、 移 住 先 を 検 討 さ れ て い る 方 が 増 え て 居 と る と 聞 く 。 そ こ で 、 玖 北 地 域 に お い て 住 居 と 仕 事 を セ ッ ト で 提 供 す る こ と が 移 住 ・ 定 住 者 を 増 や す こ と に な る と 考 え る が い か か 。 答 都 市 部 から 地 方 へ の 移 住 希 望 者 は 増 加 傾 向 に な っ て い る 。 地 方 へ の 移 住 希 望 者 は 増 加 傾 向 に な っ て い る 。 こ れ ま で も 移 住 の 創 出 も 含 め 、 関 係 各 課 と も 協 議 ・ 検 討 し な が ら 、 移 住 と 仕 事 研 究 を セ ッ ト で 提 供 す よ う な 事 業 を 調 査 ・ 研 究

有 高 ・ 取 く だ 協 周 の 本 設 答 迎 問
 害 齡 そ 組 の い 議 年 増 市 で え 広
 鳥 者 の を 皆 て 調 の 加 の の あ 由 て 島
 獸 へ 他 予 様 い 整 取 や 様 る 宇 の 東
 ー の の 算 に る を 行 は 経 々 こ 練 観 洋
 又 ー 質 措 ー 地 行 い ー 効 魅 力 か ら ー ー と プ
 ー ー C 問 置 を 十 分 様 ら ー 力 ー が ー つ な が す る こ の 方 が 組 に 開 場
 ー ー X に 考 ん で ち れ ま で 御 協 力 い た
 対 策 に つ い て
 につい
 て

〔	〔	一
氏	会	般
	派	質
名	名	問
〕	〕	
矢	湧	
野	水	
匡		
亮		

一般質問
 一般会派名
 藤重 新政和会
 藤重 重建治

問 住対策と人口減少が続く中、若者を対象とした奨学金返納支援制度を創設された。特に、看護師、保育士、介護士等の資格者の確保、医療従事者の確保の観点から、看護師の確保につ

答 いは急務と考えるが、いかかか。師の確保に

な 課題であり、早急に検討する。対策は重要

問 高齢者を対象としたスマートフォン利用に係る教室を開催し、デジタル通信弱者である高齢者の社会参加を促進することには必要と

答 考えるが、いかがか。関係団体等と協議し、開

を 検討していく。関係団体等と協議し、開

一般質問
 丸茂郁生
 志誠いわくに

問 害想定に對する防災・減災の取組に對して

住宅の耐震化診断・耐震改修の補助制度の周

知をさらに促進し、部分型耐震補助として

シエルタワー型工事費や防災ベツドなどの補助

制度を新たに設けるべき。周知徹底に努め、利

用促進を図り、また、新たな制度の有効性や

在り方を調査・研究していく。へ建築住宅

課 〓

問 保が困難な方々の安全な場所への避難行動等

に、おいて、大きな困難を抱える方々のための音

の支援策である、大きな困難を自由な方向のたのみの音

声・ポイント版など、障害者の方々のための音

ドマツプの作成を進めるべき。事例も参考に

答 閣僚部と連携し、他市の健康福祉部

し、調査・研究していく。へ健康福祉部

問 給食の費用の見直しを例会の一般質問において、
 いた。その後は、給食の1食当たりの答弁をいた
 度の運営に、児童・生徒への配食される検討の予
 また、児童・生徒への配食される検討の予算が、
 管理体制に、児童・生徒への配食される検討の予
 の後、管理費の改善に、児童・生徒への配食される
 答 令和4年度から70円70円に、児童・生徒への配食
 2校では、2円6角5分、1円2角7分、1円2角7分、
 管 理 費 2 円 6 角 5 分、1 円 2 角 7 分、1 円 2 角 7 分、
 毎 日 給 食 料 1 献 立 報 告 予 定 中 学 校 以 下
 各 種 係 資 料 献 立 報 告 予 定 中 学 校 以 下
 各 種 係 資 料 献 立 報 告 予 定 中 学 校 以 下
 す じ 。 こ れ ば 献 立 報 告 予 定 中 学 校 以 下
 が 生 じ ない ため に 活 用 す る 。 各 調 理 場 で 格 差

一 般 質 問	〔 会 派 名 〕	〔 氏 名 〕
	武 田 伊 佐 雄	憲 政 会

一般質問
 〔会派名〕 日本共産党市議団
 〔氏名〕 大西明子

問 下、急旋回の曲飛行を機が急上昇、訓練は加するため、予行練習だと指摘し、危険で、参市民に不安を与える飛行の中止、抗議をするよう要請。

問 き上げに、ついで、児童園等、市内の保育園・認定こども園・幼稚園等に委託した5クラスに、対して、児童教室の賃金改善を実施すると答弁。後、児童教室の賃金改善を実施すると答弁。公立の施設の職員の処遇改善を強く求めた。

問 シの交通弱者の対策として、予約型乗合タクシーの運行を令和4年度から実施するが、高台地の対策に、ついで、持続可能な移動手段の運行的効果、地域の方々と協議を重ね進めて

いきたいと答弁。

問
は、原因を分析し、対策を立てることは市民に
生活を守ることに適さず、米軍の検査は米軍
など国内法が適用されず、米軍の検査は米軍
任せになっただけで、米軍の検査は米軍
検査をしていないこと。米軍の検査は米軍
沖縄県は、県民の命と生活を確保するため、米軍
や国に数回要請したが、岩国市は一度も抗議
も要請もしていない。その感染拡大の犯人も
司令官と直接会った際も「感染拡大の犯人も
しや、どこから入ったか」と言うのも、米軍
ない「と口火を切る始末である。言うのも、
にも「言おうベき」とは言う「国や米軍
だ。国や米軍がミスは言う「市民の命と
生活を守る責務が自治体にはある、市民の命と

一般質問
「会派名」日本共産党市議団
「氏名」長岡辰久

一般質問
 一般会派名
 市市政改革クラブ
 瀬村尚央

問 子育て世帯や高齢者に対する施策は充実しているが、成人独身者に対する施策はないか。
 答 令和4年度は特に予算計上していない。

問 第二岩国市総合戦略において、「結婚・出産・子育ての希望がけない環境づく」とあるが、結婚の施策がないのは市の戦
 略と誤った結果ではないか。
 答 総合戦略を組み直し、はい、修正を
 かけていく予定。

問 総合戦略や市の施策を、総合政策部と
 うつ部署が全体を管理するより、各部
 部署で政策企画を検討する班を置いて
 市民に寄り添った施策が生まれると思
 うか。
 答 市の体制なども調査していき、現時
 点では、現状の体制なども調査していき、現時

一 般 質 問
 〔 氏 名 〕 重 岡 邦 昭
 〔 氏 名 〕 市 民 ク ラ ブ ・ 草 の 根

問 諸 国 を 核 兵 器 で 威 嚇 し、ウ ク ラ イ ナ に 圧 倒 的
 な 武 力 を も っ て 侵 攻 し た こ と は 許 さ れ る も の
 で は な い。 し か し、 変 更 は、 岩 国 で も 行 わ れ た。
 一 力 に よ る 現 状、 艦 載 機 約 60 機 の 移 転 に 反 対
 言 う ま で も な く、 市 長 対 し、 庁 舎 補 助 金 35 億 円 を
 し、 市 長 に 対 し、 庁 舎 補 助 金 35 億 円 を 力 づ く で 市 長 を 交 代 さ せ、 岩 国 市 の 主 権
 と 民 意 を 奪 っ た こ と ク ラ イ ナ に あ る。 つ い て は、 現 状 変 更
 の 口 シ ア が ウ ク ラ イ ナ に 何 が 違 う の か お 聞 き す る。
 答 長 の 辞 任 に 伴 う 一 選 挙 に よ る の か、 誰 も
 が 知 る と ころ 思 う。

問 今 の 答 え は 結 果 で あ っ て、 間 違 い な く 庁
 舎 補 助 金 35 億 円 力 ツ ト し、 辞 職 に 追 い 込 ん だ
 こ と 実 際 あり、 承 知 し て い る。 し、 最 後 は 市
 民 が 決 め る も の と 承 知 し て い る。

